



全国通信三田会報

第120号 2025年(令和7年)2月15日発行

発行 全国通信三田会
 発行人 山岡恒夫(会長)
 事務所 〒300-1282
 茨城県牛久市井ノ岡町
 2117 山岡恒夫
 TEL 029-875-0533
 編集人 星野寿美(広報部長)
 印刷所 梅沢印刷所(東京都)
 会報は正会員の情報紙です。
 *年会費2千円
 *郵便振替番号
 00120-2-18806
 複数年度お支払いの意向を
 お持ちの方も会計処理でき
 るようになりました。
 *会への連絡は8面の連絡先へ

第一二〇号

2024年 全国通信三田会 秋期幹事会報告

2024年10月19日に開催された「全国通信三田会秋期幹事会」は、三田キャンパスの南校舎445号教室で行われ、Zoomを利用したハイブリッド方式での参加も可能でした。石川総務部長が司会を務めました。

まず、会長改選に関する報告があり、2024年7月12日の役員会において山岡恒夫会長が推薦され、その後、ホームページ上で会長候補の推薦が公示されました。9月1日付で山岡会長の続投が内定し、本幹事会において全会一致で続投が決定されました。

また、大野総務部副部長から出席幹事の確認が行われ、幹事102名のうち会場出席者38名、Zoom参加者11名の合計49名が参加。会規約第10条3項に基づく三分の一超の参加要件が満たされ、本会は成立しました。

議事次第において、まず「塾歌」の斉唱が行われ、その後、吉浜副会長による挨拶がありました。物故者4名の報告と黙祷が捧げられ、堀田副会長が議長、小林総務部委員が書記に選出されました。

次に、山岡会長が挨拶を行い、会長職を続投の挨拶がありました。会長は、今年3月に累計卒業生が17,000

山岡恒夫会長 続投



ピックアップに出場する選手についての説明がありました。また、今年から記念館での入学式が通学生のみで行われること、通信教育の各期に1,400名が在籍していることが述べられました。さらに、2022年にグラントオーブンした義塾の医療病院における予防医療センターの設立や、人工知能を用いた

人を超えたことを報告、春の幹事会が千葉で開催されたこと、また、三田会の仲間である石破氏が総理大臣に就任したことに触れ、地方創生の重要性を強調しました。

続いて、塾員センターの中里史朗課長が「塾の現況について」報告しました。慶應義塾の最近の動向や、パリオリンピック

最先端の健康サポートについても言及されました。最後に、慶應義塾へのふるさと納税のお願いがありました。

そして、各部の報告において、企画部は「卒業生17,000人達成記念式典」を2025年の連合三田会前日に開催することを発表。会計部は現状の会計状況、会計監査が正確に処理されていることを報告。広報部は「会報」119号を発行、次号の内容についての提案。渉外部は2024年3月の卒業生名簿発送について報告し、情報システム部と総務部もそれぞれの進捗を伝えました。

地域連絡部からは各地域の活動報告があり、東京、広島、神奈川、千葉、愛知、札幌、徳島、宮城、群馬、鹿児島、慶友三田会、岡山、長崎、大分、静岡、兵庫、山口、熊本、栃木、新潟、山陰の各地域での行事や活動が紹介されました。特に、各地域の会長がそれぞれの活動の意義や今後の計画について言及しました。

「意見交換の場」では、幹事会のあり方についての提案があり、ハイブリッド開催の再考や地方との交流会の場としての春期幹事会の提案もなされました。対面のみで開催やハイブリット継続の意見が交わされました。議事は終了し、閉会の際には「若き血」が斉唱され、写真撮影が行われました。

地域通信三田会今後の予定ご案内

「春期幹事会」

開催日: 2025年5月24日(土)~25日(日)
 松本地区にて全国通信三田会との共催で『交流会』を予定。(日程及び場所は変更もあり、検討中)3月に詳細決定。

お問合せ先
 総務部 ztm-soumu@googlegroups.com

「第27回 中四国合同通信三田会 徳島大会・徳島通信三田会 創立50周年祝賀会」

開催日: 2025年6月28日(土)~29日(日)
 会場: ホテルグランドパレス徳島
 28日 ホテルロビー13時集合
 徳島観光・前夜祭
 29日 10時~14時30分 式典他
 (費用等詳細は5月に決定)

お問合せ先
 徳島通信三田会会長 大原三枝子
 oharam22@ma.pikara.ne.jp
 090-5140-1820

「北関東神奈川合同通信三田会 国内交流会」

開催日: 2025年9月6日(土)~7日(日)
 場所: 横浜市、鎌倉市
 費用概算: 20,000円
 (宿泊時、夜の懇親会含む、旅費は別途)

お問合せ先
 神奈川通信三田会企画部 伊藤浩
 ito_y@docomo.ne.jp
 080-3527-6479
 又は 会長 竹原貢
 take.mitsugu@gmail.com
 090-8700-0300

「東南アジア連合三田会」

総会開催日時: 2025年11月23日 12時~15時
 開催国: シンガポール
 詳細は次号でお知らせします

お問合せ先
 全国通信三田会副会長 田沼千鶴子
 c.tanuma.1991@gmail.com

◆会への連絡は下記へご連絡くださるようお願いいたします。

◎会へのご意見など 事務所へは郵送のみでお願いします。
 緊急の用件の場合: 山岡会長 Tel 029-875-0533 (夜間6時~10時まで)
 住所・姓名変更退会逝去者など: 田沼方 Fax 03-6874-6718
 (住所変更は下記塾員センターへご一報!)
<https://www.dcd1.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html>

◎新入会申し込み、会計関係(文書で)
 〒340-0003 埼玉県草加市稲荷2-5-2 大川成一方
 ◎「全国通信三田会報」原稿送り先
 〒376-0101 群馬県みどり市大間々84-18 星野寿美方
 Tel & Fax 0277-73-1529 Eメール: sincere@vi.sunfield.ne.jp
 【次号原稿締め切り: 令和7年5月31日まで 原稿字数800字位】

福岡通信三田会会長 古賀敏生さんを偲んで



去る11月3日に、福岡通信三田会会長の古賀敏生さんがお亡くなりになりました。享年68歳でした。

昭和58年に法学部をなんと4年で卒業。古賀さんとの初めての出会いは大牟田(現在は筑後)慶友会の例会でした。お互いの職場が近かったことや九州各県の慶友会持ち回りの九州合同ゼミに参加する等しながら親しくなりました。

平成16年に福岡通信三田会が創立されると、常に役員として会を支え、平成27年からは会長として、会がより盛会になるように尽力されてきました。参加者が一人でも多くなるように、夜の懇親会はお昼のランチに。大牟田市や宗像市が世界文化遺産に登録されると、日帰り研修としてそれぞれの地を案内してくれる等の企画を連発されました。

そんな中、数年前に病魔に冒され、大病にもかかわらず持ち前の気力で克服されましたが、今年6月に再び入院されました。また、元氣になって戻られることを願っていましたが叶いませんでした。

会のお世話に生き甲斐を感じて、病室にまでPCを持ち込み、9月の九州合同通信三田会のために電話やメールで連絡を取り合いながら最後まで会長職を全うされる真面目さに敬服しております。

古賀さん、長い間本当にありがとうございました。どうぞ安らかに眠りください。

福岡通信三田会顧問 松尾成男 (1982法)

宮城通信三田会前会長 末永利一郎さんを偲んで



利一郎さんは、去る令和6年10月11日(金)に肝臓がんの為に亡くなりました。87歳でした。

9月末に連合三田会へ出席予定であったので、確認の電話をお掛けした時、「これから退院後の検診に行くところですよ」と比較のお元氣な声で話されていました。そして、宮城から何名行かれるのかと心配されていました。これが最後の会話となりました。残念でなりません。

利一郎さんの住まいの近く南三陸に「慶應の森」があり、例会で訪問した時、軽トラックで山道を駆け登り案内されたのが思い出されます。また、通学生の時、「慶應の学ランを着て神宮

や銀座を闊歩した」と熱く話されていました。仙台や気仙沼の三田会にも所属され、慶應のラグビー部が気仙沼で合宿した時には、激励に駆け付けたそうです。

永年 宮城通信三田会の会長として慶應義塾への情熱と会員からの人望の厚さで私達三田会を盛り上げていただきました。会長挨拶の時は、いつも熱っぽくこやかに話されました。そして、3年前私たちの会の大きな節目である設立50周年記念式典を利一郎会長の基で盛大に開催出来たことを何よりに思います。

今後は、私達の会の名誉会長として引き続き指導を頂けると思っています。ただに残念でなりません。やすらかに眠り下さい。

宮城通信三田会会長 小野武 (1970法)

会長紹介



神奈川通信三田会
会長 竹原 貢
(2019経)

卒業式に縁がない私

私は2019年9月経済学部卒業です。日吉新記念館の竣工に合わせて2020年3月挙行予定の卒業式に慶應義塾大学通信課程卒業祝賀会準備委員として諸準備を進めていた2020年2月、コロナ感染症が猛威を振り始め、当局から卒業式並びに卒業祝賀会中止の連絡。

先人より慶應義塾に在学して一番の魅力は卒業式と聞いていたのに全く残念。振返ると高校まで北海道根室市で暮らし、大学受験のため山形の姉の所に居候して関東の2大学を受験のため高校の卒業式はパス。一つ目の大学の卒業式も就職の準備からパス。でも慶應を含めて卒業証書は頂いてしっかり保管しております。

慶友会から三田会へ

終身雇用制度もあり入社から退社まで一つの私企業に奉職し定年退職。当時のはやり言葉である「自分にご褒美を」と遊び三昧の日々。これでいいのかなと思いついたとき、ふと新聞広告の「私立大学通信教育課程合同説明会」に目が留まり、2013年4月慶應義塾大学通信教育課程の経済学部に入会。

5月の新人歓迎会の厚遇に心を打たれ即浜慶のスタッフに。2019年9月の卒業まで浜慶でスタッフと同時に大学に後援を頂いている通信生対象の卒業祝賀会準備委員会委員を経験し、全国通信三田会の役員会に顔出しをさせて頂いていたことから三田会へのルートが出来上がりました。

卒業論文は当時の通信教育部長(現常任理事)池田幸弘教授にご指導を頂き、「比例税の一考察―ハイエク『自由の条件』を中心に―」を纏めました。懇切丁寧な指導のおかげで卒論の体を成せたことに感謝いっぱいです。

三田会活動の楽しさ

卒業と同時に吉濱健二会長(全国副会長)からお誘いを受け神奈川通信三田会並びにユニコン賞を頂いた全国通信三田会の会員になりました。総務部で会の全体的な動きに関与させて頂いていた時に、突然吉濱会長の後任探しの矢が当たり、会長代行の準備期間一年を経て2022年11月に神奈川通信三田会の会長職拝命となりました。

神奈川通信三田会は1971年11月7日(日)日吉校舎内に集った9名で活動を開始、53年の歴史と現会員約300名の多彩な人材というストックがあります。私の役割は世代を繋ぐことであり、スローガンを「楽しくなければ三田会じゃない」としました。体を動かすことが好きで同好会活動に積極参加し、太極拳、ヨガ、散策、山歩きで気持ちいい汗をかき俳句では冷や汗をかきながら楽しんでいます。通信教育課程に学んだ仲間と共に体を動かす時に頭を働かせ、仲間との触れ合いを通じて楽しい、よき人生を歩む一助になればと念じております。

2024年慶應連合三田会大会レポート

札幌通信三田会 副会長 小島 道央
(1990文)



今年の大会は、年に一度の塾員のためのホーム・カミングデイであるという原点に戻り、スローガンは「おかえり」、副題を「KEIO HOMECOMING DAY」でした。

午前10時より、記念式典が始まる。冒頭、笠原大会実行委員長より開会宣言が行われ、参加者全員起立して「塾歌」斉唱。

次に、麻生泰連合三田会会長が「今年のスローガンは『おかえり』です。『あー今日参加して良かったね』と互いに何かを感じる出合いがあるのではないだろうか。慶應で学んだことをアドヴァンテージを持って、社会に役立つ人間になって欲しい。そして想いやりや真心をもって『おかえり』の文化、新しい刺激とエネルギーを持って帰って欲しい。」と挨拶。

続いて、伊藤塾長が挨拶。「今年度のスローガンは『おかえり』で、いったって

シンプルです。そこには学生時代の様々な思い出や、一度巣立ってからでも、どこかで皆さんの拠り所となり続けた母校への想いが詰まっています。様々な考え方や経験を持つ人の集まりでありながら、互いに尊重し、その中で芽生えた交流の中で協力的に高めあう。三田会の素晴らしさは、この社中協力の精神にあります。年に一度のこの機会に日吉に集い、旧交を温め、また新たな出合いが生まれ、塾員の絆が深まることを願っております。そして、近隣の住民もこの連合三田会を楽しみにしている。本年、能登地方で地震や豪雨があった。昨日、金沢から帰ってきました。今日一日を楽しんで下さい。」

最後に、卒業50年招待塾員の115三田会代表幹事の落合正行君が「4月の入学式では、卒業後50年の仲間千人が参加し、今も人間交際を続けている。」と挨拶。

式典は全員起立して「若き血」を声高らかに斉唱し、塾旗が降壇して終了した。

同記念館で「大地震発生から10か月、能登にエールを！」というテーマで、地元の塾員らが、能登半島を襲った震度7の大地震の発生から10か月以上がたち、いま現地ではどういう状況で何が必要とされているのか。能登から日本を考える「能登の今」を私たち塾員がで

千葉通信三田会散策

水戸徳川家
ゆかりの地を歩く
(戸定邸と松戸宿)

千葉通信三田会 細田 理聡
(2012法)

今年度は、昨年度の流山・野田に続いて、東葛シリーズ第2弾と称し、11月10日(日)に水戸徳川家ゆかりの地である松戸を散策しました。参加者は16名、昨年度同様盛況でした。

最初に訪れた戸定邸は、140年前の明治17年に、最後の将軍徳川慶喜の弟で、水戸徳川家11代目当主の徳川昭武によって建てられました。明治前期の上流社会の暮らしぶりを伝える建物で、平成18年に国の重要文化財に指定されました。その戸定邸内をボランティアガイドがひと回り30分ほど案内してくれます。実は、私は1年前からここで土日にガイドをしており、当日は私と同僚ガイドの二人で皆様をご案内しました。私のガイドぶりは、果たしてどうだったでしょうか？

戸定邸を見学した後は、老舗料理屋「富吉」を訪れました。ランチに「葵御膳」を頂きました。蒸し物の「小鯛のけんちん蒸し」は絶品で、150年続く技法で他で食べるができないものですと女将さんが仰っていました。

次に水戸光圀伝説が残る松戸神社を訪れました。ここであつとしたハプニングがありました。丁度七五三でしたので、境内は御神輿も出てお祭りでした。そこへ我々一行が訪れたのですが、半被の方が一人近寄ってきて「境内をご案内しましょう」と言ってくれて、境内をひと回りしてくれたのです。そして一週間後「皆さんも記念写真をお撮りしましょう」という流れになり、いやいや私たちは七五三ではありませんからと一度は断ったのですが、再度促され御神輿の前で撮って頂きました。「我々は七五三じゃなくて、七十五三三だ！」と誰かが叫んで爆笑でした。最後はお手を拝借、「慶應義塾大学の皆様の発展を祈って！」ということになり半被の方々に囲まれて「松戸一本締め」をやって頂きました。予期せぬことだったので嬉しかったです。

その後松戸宿の坂川沿いを歩き、和菓子「岡松」、剣豪千葉周作の修業の地、松戸で最初の小学校を訪れました。来年度は、東葛シリーズ完結編を企画中です。



「卒業生17000人達成記念式典」開催のご案内

—10月18日(土)午後 三田キャンパスで実施—

全国通信三田会会長 山岡恒夫・企画部部長 出口常雄

「通教課程卒業生17000人達成記念式典」は、昨年10月以降、幹事会のご指示に沿い、慶應連合三田会ならびに塾員センターなど広くご支援をいただきながら下記のようなスケジュールにて開催を予定しております。

- 開催日時 2025年10月18日(土)
13:00~14:30 全国通信三田会2025年秋期幹事会
15:00~16:30 記念式典(記念講演会)
17:00~18:30 記念祝賀会
- 場 所 慶應義塾三田キャンパス内施設(予定)
- 推進体制
(1) 準備委員会(委員長:山岡恒夫会長)を設置し、全国通信三

- 田会役員会が兼務する。
- (2) 準備委員会のもとに実行委員会(委員長:山岡会長)と実行委員会事務局(事務局長:須賀淳子総務部副部長)を設置する。
 - (3) 事務局委員は、全国通信三田会各部長(出口企画部長、大川会計部長、田沼塾員部長、瀬戸地域連絡部長、石川総務部長、迫渉外部長、星野広報部長)と矢部企画部副部長・堀内総務部副部長とする。
 - (4) 記念式典の具体的な内容は実行委員会事務局会議(Zoom会議)で検討し、全国通信三田会役員会に報告・承認を得る。
 - (5) 会員への周知
『全国通信三田会報』第120号(2025年2月発行)にてお知らせ・同121号(2025年7月発行)にて詳細を周知する。



きることを一緒に考えていくという、熱いトークが交わされた。

また、同記念館で「『青春ライブ』や『塾員スペシャル・トークショー』が、藤井貴彦キャスターと一青窈そして桜井翔の3人により行われ、学生時代のことを懐かしんで話が弾んだ。

今年の大会は、國分実行本部長が「あいつ元気にしているかな」と軽い気持ちで来て欲しい。日吉にはみんなの居場所がある。みんな待っているよ、という思いを『おかえり』というメッセージに込めました。」と述べているように、みんなが「ただいま」「おかえり」と言いなくなるような大会であった。当日、午前中は曇り空であったが、午後からは澄み切った秋空の下、塾員やその家族が、日吉の丘で存分に旧交を温めあっていた。来年もこの日吉の丘に笑顔で集いあい、塾員同士の絆をさらに深めていって欲しいと願い、日吉の丘を後にした。

第15回九州合同通信三田会 福岡大会報告

福岡通信三田会 副会長 立石昭二
(1987文)

九州合同通信三田会(福岡、熊本、長崎、大分、鹿児島、沖縄)は昨年コロナ禍明けで久しぶりに福岡にて開催する予定でした。ところが昨年は熊本が通信三田会40周年になることから、九州合同を同時開催の要望があったため熊本に譲り、今年5年ぶりに9月21日(土)福岡で開催の運びとなりました。

この会の準備をしていた当会会長の古賀敏生は7月に入院し退院が間に合わず、副会長の私が代役することになりました。

来賓として全国通信三田会副会長の瀬戸田誠様、福岡三田会から常任幹事の吉田稔様そして愛知通信三田会名誉会長の伏屋重晴様の参加を頂き、23名の参加で始まりました。

各通信三田会会長の活動報告では、新たに大分中津三田会が発足した紹介もありました。

今回の議題には、三田会の活性化について協議することになりました。議事進行役から、50年前に夏季スクーリングを受けた塾員が今も運営している三田会がある。社会情勢が大きく変わり大学もシステムが変わっていることから、三田会も若い世代に交代しないといけないという、話題提供がありました。

そこで、熊本から塾生に有益な情報を与えることで卒業後の入会を促す。その情報

交換会を九州全体で取り組むという提案が出されました。各県の塾生と塾員に案内を出して多くの人を集めようという企画です。これを各通信三田会が承認して、熊本で来年2月に会を開くことで準備してもらうことになりました。

最後に当会の今年の卒業生、濱端久美子君(ユニコン賞受賞者)の講演があり、会は終了しました。演題は卒論のテーマ「伝統産業とイノベーション」丹後ちりめんからの考察」でした。

会の終了後は場を移して懇親会となりました。福岡慶友会からも塾生3人の参加があり和やかに会は進み、塾から頂いたグッズの抽選では全員に商品が行き渡りました。最後に「若き血」で締めて福岡大会を終えました。



北関東合同通信三田会 茨城報告

茨城通信三田会 丸尾勝彦
(2013経)

9月7日(土)・8日(日)の両日、恒例の北関東合同通信三田会が快晴のもと茨城県水戸市で開催されました。両日ともに残暑厳しいなかでの開催となりましたが、群馬、栃木、茨城の北関東3県に加えて、神奈川、埼玉、東京、福島各県から総勢23名の参加を得て、一年ぶりの会合を皆さんで楽しむ時間を共有することができました。

初日はまず水戸駅に集合してからバスで千波湖畔に付む料亭に向かい、そこで山岡会長からの主催者挨拶と乾杯の音頭で昼食会がスタート。それから生ゆばなど地元食材を駆使した和食を堪能しながら皆さんの近況報告で暫し団欒の時間を過ごしました。

昼食後は水戸藩第9代藩主徳川斉昭が偕に楽しむ場として創設した日本三名園のひとつ「偕楽園」に足を運びました。「偕楽園」は早春の観梅シーズンの観光名所として知られていますが、折しもこの日から秋祭りが始まっている園内を観光ボランティアの案内により歴史を偲ばせる史跡を巡りながら、眼下に広がる千波湖や梅林などの雄大な景観を堪能してもらいました。

次に、水戸藩の藩校である「弘道館」に向かい、そこで館内と水戸城跡を観光ボランティアに案内してもらうこと



で徳川御三家であり徳川幕府を支える役割を担う立場の守旧派と、当時の尊王攘夷思想の原点である水戸学を心棒する急進派との藩内抗争など幕末の激動期に水戸が果たした歴史の一旦に触れていただきました。

この日の行程の最後に、近年、再建された水戸城大手門の前で一同の集合写真を撮影し、銘々、水戸駅に向かい約半数の方々がそれぞれ帰宅の途につきました。

宿泊を選択された方々は一旦ホテルで寛いだあとに全員で駅近の料理店に赴き水戸名物の納豆を素材とした郷土料理と地酒を堪能しながら談笑し大いに親交を深めることができました。

二次会はカラオケで皆さんが各自持ち歌での喉自慢を披露し、最後には全員で肩を組んでの「若き血」を熱唱し密度の濃い一日を過ごしてホテルに戻りました。

翌日二日目は徳川家康公と初代藩主徳川頼房公を祀る「水戸東照宮」を参拝し、境内を宮司さんに案内してもらい、東照宮の由来や日本最古の鉄製戦車や移動式茶室、大神輿などの珍しい文化財など見せてもらうことができました。

それから水戸市の文化の拠点で昨年、開館したばかりの「市民会館」とそれに隣接する「芸術館」や「タワー」を散策しながら水戸の文化の香りを十分に感じてもらいました。

その後には水戸駅に戻り、駅ビル内の蕎麦店で昼食をとりながら来年度の神奈川での再会を約して散会となりました。水戸を後にしました。

第29回東海地区 合同通信三田会報告

愛知通信三田会 名誉会長 伏屋重晴
(1982文)

2024年10月5日(土)、愛知通信三田会が幹事役で、32名が参加して名古屋市のアイリス愛知で第29回東海地区合同通信三田会(三重・岐阜・静岡・愛知通信三田会)が開催されました。

井中相談役の司会で始まり、最初に岩田会長が挨拶をしました。その後、浅岡副会長(愛知県知事兼警察署長)がプロジェクターを活用し、分かり易く講演されました。演題は「現職警察官(元刑事)が語る犯罪・事故よもやま話」でした。主な内容は次のとおりです。私達高齢者には大変に参考になり、特にくれぐれもご用心との言葉が心に残っています。

1. 日本は、本当に「安全」で「安心」な国か? 数字で見る日本 我が町は:
2. 事例紹介 あなたも犯人に狙われている!

3. 愛知県警の取り組み
4. 事件・事故の被害者にならないため皆さんに是非実践して欲しいこと

講演終了後、隣の部屋に移動して記念写真を撮りました。少し休憩を取り、懇親会に移りました。懇親会も井中相談役が司会を務めました。最初に全員で「塾歌」を斉唱し、岩田会長の挨拶そして田沼全国通信三田会副会長からの祝辞を頂きました。伏屋名誉会長の乾杯後、各地域通信三田会会長が挨拶されました。



暫く和やかに歓談・会食し、その後各地域通信三田会単位での自己紹介・近況報告等、有意義な一時を過ごしました。懇親会会場で参加者から次の言葉を多く伺いました。コロナ禍ではリモートでの会議が中心で有り寂しかった。コロナが収束して、こうして皆さんと顔を合わせてお話し・食事が出来るのが最高に嬉しい。

懇親会も終盤を迎えて全員で肩を組んで、大きな声で「若き血」を斉唱しました。これはコロナ禍では出来なかったことです。愛知通信三田会会長から次期開催県の三重通信三田会会長に「東海地区合同通信三田会の三色旗」が引継がれました。

最後に伏屋名誉会長の一本締め、そして名残は尽きませんが来年の再会を誓って散会しました。

令和6年度 中四国連合 通信三田会開催

山口通信三田会 会長 小河和子
(1992経)

中四国地域にある各地通信三田会が持ち回りで合同大会を開催しており、今年は山口が担当である。都会部と比べて交通の便が悪く範囲の広い地方部では、他県での会議に参加する場合通常宿泊を伴う。せっかく宿泊費を払って遠いところを参加するのだからと、当地域では合同会議の後に観光(自由参加)を取り入れている。昨年の高知の時は朝ドラに乗って牧野植物園への観光であった。このように、合同三田会開催に当たっては、当日の会議・講演・観光の三拍子で行うことになる。通常講演は本部から来られる方をお願いしているが、今回は日程の都合で本部からの参加はないとの事。会場は湯田温泉の老舗旅館「常盤」。この社長が慶應義塾の塾員で、数年前から山口通信三田会の総会を「常盤」泊りで実施して縁を繋いでおいたので、懇親会と宿泊費をセットとしたらあまり負担にならないだろう。



最期に観光。私自身としては、他の県にない「ホテル舟」がおすすめであるが場所は下関市の豊田である。その他秋吉台や萩・角島大橋等の観光地を巡るにしても距離が離れていて、公共交通機関では難しい。という事で、観光バス(レンタカー)を利用した一泊二日の県内観光を企画。宿から国立公園秋吉台のカルスト台地を走り抜けて萩へ。数時間で萩を全て回ることはできないので、松陰神社と城下町を中心とした町歩きの後コバルトブルーの海が美しい角島大橋を経由してP.H.O.M.を誇る美人の湯「一の俣温泉」を堪能。夕食後、ホテル舟に乗り船し40分の船旅を楽しむ。木屋川を下りながら、水面に飛ぶホテルの乱舞を見るのは幻想的ともいえる。露天風呂から眺める星空も美しい。翌日は朝食後宿のバスで新山口まで送迎。こうして令和6年度の中四国連合通信三田会の会合は終わった。

「山口に行くと観光が楽しかった。又他県の合同三田会にも参加して、ついでにその地の観光を楽しみたい。」と各合同三田会への参加者が増え、繋がりが増えれば望外の喜びである。

広島通信三田会活動報告

『交流の秋』

広島通信三田会 会長 瀬戸田 誠 (1989経)

1 長濱直次沖縄会長、11/13来広に際し、交流会を開催した。広島の場合は現在、広島市郊外在住者が多いため、今回のように早めの来広告知は大変幸いだった。少々早めの時間からお好み焼きを堪能し、第2部は広島駅構内の店舗にて「昨今の地方三田会について」など語り、大変有意義な時間であった。



2 迫田(前広島会長)、12/13熊本県菊池市を訪れ、津留伴一熊本会長と懇談した。迫田さんは「原爆の語り部」活動をされており、今年は広島のみならず、全国のメディアに取り上げられている。

ノルウェー・ノーベル委員会は2024年の平和賞に広島、長崎の被爆者の全国組織、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)を選んだと発表。2025年は、原爆投下から80年目となる。

熊本女子高で講話記事→
(熊本日日新聞2024・12・11)



また12/14、国際会議場で原爆の絵のトークショウがあり絵を書いた学生と一緒にトーク、その後、NHKや民放から取材があり同日夜放映された。読売新聞は後日掲載予定。

語り部 迫田さん 2024

迫田さんの原爆体験を基町高校2年生が絵に描くドキュメンタリー

「私の体の中に毒針がいる」
79年経った今も続く被爆者の苦悩 # 戦争の記憶

<https://wararchive.yahoo.co.jp/wararchive/tss4.html>

2024/08/16(金) 配信

by TSS テレビ新広島



「URL 変更のお知らせ」全国通信三田会ホームページ

「新HPのURL」<http://zenkoku2mitakai.sakura.ne.jp/>

は2023年9月からURLが右記のように変更になりました。「全国通信三田会」住所変更等受付 ztm-soumu@googlegroups.com

「会報発送にあたり、梅沢印刷様へ送付先(住所等)を提供し、封入発送いただいております。」

「卒業生の皆様へは、ご卒業時に会報を発送させていただいております。この機会に是非ご入会いただきますようよろしくお願いいたします。」



塾員紹介



菊田 智子さん
(2000経)

故郷に祈りを込めて

千葉通信三田会でご活躍の菊田さんは、大学院に進まれて女性学修士号を取得されて、その後、仏画を描いて15年になります。来年は卒業25周年を迎えます。女性学とは、さらに仏画への想いなどを伺いました。

【聞き手・幸治典子】
Q 初めに女性学を学ぶきっかけをお聞かせください。

A 子供の頃、母親の重労働を見ていました。家父長制の強い九州で育ったので、家事を一切しない父や男兄弟3人に対して不満と疑問を抱いていました。慶應で須藤王章先生と出会い、ジェームス・ジョイスの英文購読を受け、女性学を学ぶきっかけになりました。先生との出会いが異文化に触れて時代を超え、国境を越えて、女性たちに出会うことができました。

Q そして、城西国際大学(千葉県東金市)の人文科学研究科女性学専攻へ進み、修士論文を書かれたのですね!

A 論文は少子化社会における子育て支援をテーマとして、地方自治体の支援による子育てネットワークの活動3件の事例研究を行いました。企業、自治体、ボランティア活動のそれぞれの方向から事例を調べた、総合的な社会システムについて述べています。

さらに現代における家族形態の多様化の下で、制度上なお固的な家族観が強いことに対して批判的考察を行いました。

Q 女性が自立するだけでなく、生産性を高めていくことも求められていますね。ところで、その後仏画を画かれていらっしゃるのか?

A ふるさと熊本県の人吉球磨の水害からの復興を祈り、仏画を描いています。

始めたのは2010年9月からで、友達の仏画展示会を見学して、始めることになりました。子供の時から図工が大好きでしたから、チャレンジしてみたいと思いました。

人吉の人たちとフェイスブックを始めて、中学時代の恩師の息子様よりお寺の仏画を依頼され、母の七回忌に奉納することになりました。阿弥陀如来様を毎日描いて、短期間に何とか間にあわせました。

人吉は2020年7月に大変な豪雨災害を受けまして、復興に向けて、皆様が力を合わせて頑張っているところです。今仏画は、水害や地震で亡くなった方々などの成仏を願い、祈りの気持ちで描いています。



聖観音様(しょうかんのんさま)

※仏画を月刊誌「くまがわ春秋」に連載とすることで、今後もご活躍を祈っております。

わが町紹介

鹿児島県鹿児島市



鹿児島通信三田会会長 竹下孝一
(1992文)

鹿児島市は、市街地から錦江湾(正式名・鹿児島湾)を挟んで桜島(標高1,117m)を望む景観が、イタリアのナポリからヴェスヴィオ火山を望む風景に似ているため「東洋のナポリ」と称され、令和5年には約900万人が訪れた観光都市です。桜島は1980、90年代に比べると火山活動が沈静化し、市街地に大量の降灰をもたらすことは珍しくなりました。中心市街地にある繁華街の天文館地区は再開発が進み、九州新幹線の終着駅である鹿児島中央駅の周辺は発展を続け、週末は大勢の人々で賑わいます。

年平均気温は19℃前後で、冬は東シナ海から雪雲が入るため、標高200m以上の山地では雪が降ることもあります。年間降水量では多雨と言えませんが、年間日照時間は約1800、2100時間と恵まれています。

「鹿児島」という名の由来は諸説ありますが「カゴ」は崖という意味の古語で、桜島の四方が崖になっていたので島名を鹿児島と称するようになったという説が有力です。薩摩藩の島津家第28代当主・島津斉彬(なりあきら)の命により、集成館(現・尚古集成館)で反射炉や溶鉱炉が造られ、近代工業化の発祥の地となっています。幕末には長州藩(現在の山口県)とともに薩長同盟を結んで明治維新に貢献し、西郷隆盛や大



城山展望台から望む桜島

久保利通など歴史的偉人を輩出しました。提携都市としては、山形県の鶴岡市と兄弟都市盟約を締結していますが、幕末の戊辰戦争で敗れた庄内藩に対し、西郷隆盛が寛大な処分を下したことが縁となっています。岐阜県の大垣市とはフレンドリーシティ提携を締結していますが、江戸時代に幕府の命で薩摩藩が木曾の治水工事(宝暦治水)を行ったことが縁となっています。他にも、長野県の松本市と文化・観光交流都市提携、北海道の札幌市と観光・文化交流協定、山口県の萩市と友好交流に関する盟約を締結しています。

海外との姉妹都市では、イタリアのナポリと盟約を締結しており、鹿児島中央駅東口から桜島を望む並木道が「ナポリ通り」と名付けられています。オーストラリアのパースは「ナポリ通り」に続く甲突川を渡った先が「パース通り」と名付けられています。アメリカのマiamiはともに本土最南端の都市で気候が似通っており、天文館地区から「いおワールドかごしま水族館」に向かって「マイアミ通り」があります。フランスのストラスブールとはパートナーシップ協定を締結しており、路面電車を活用した街づくりが似ているそうです。

鹿児島にいらっしゃる方は、「鹿児島の人々は優しくて、食べ物美味しい」とおっしゃって下さいます。観光バス「カゴシマシティビュー」は大人の運賃230円、一日乗車券600円で、市内の主な観光スポットを1周約80分で巡ることが出来ます。皆様のお越しをお待ちしております。